

加茂市の「こうあいたい」すがた・理念

居場所がある

◎いつでもだれもが気軽に行ける場所があるといい。（ふらっといける。障がいがあってもなくてもいける。話し相手がいる。）

- 毎日でなくても緩く通えるところがあるとよい。
- 地域活動支援センターがあるとよい。
- 作業にこだわらず通える場所があるとよい。
- 障がいがあっても気軽に集まれる場所。
- 障がいがあっても遊べる場所。（ゲームなどがあるとさらによい。）
- 話しやすい場所やお店。（食堂、喫茶店）

地域づくり・人づくり

◎地域づくりの視点が持てる人がいる、機関がある。

- 地域のネットワークがある。（福祉以外にも）地域を巻き込む力があるとよい。
- 福祉事業所の職員間の交流、ネットワークがあるとよい。
- 地域住民向けの障がい者理解のための勉強会
- 就労継続支援B型事業所の販売商品について、福祉分野を超えた他分野の機関と開発協力ができることよい。
- 障がい者を積極的に雇用する理解のある企業が増えるとよい。
- 相談支援専門員をはじめとする障がい福祉分野のマンパワーの確保が必要。それと同時にスキルアップも必要。
- 障がい者に理解のある医療機関があるとよい。
- 手話等の通訳者が多くいるとよい。

者の支援の充実

- 就労継続支援A型事業
- 就労移行支援事業
- グループホーム
- 短期入所
- 入浴ニーズに対応するサービスがあるとよい。それ以外も全体的に不足

◎加茂市の中でサービスが利用できる。

児童の支援の充実

- 療育的支援ができる。
- 放課後等デイサービス事業や児童発達支援事業があるとよい。
- 児童の相談支援ができる事業所があるとよい。
- 子育ての相談ができる場所があるとよい。

核となる理念

- 障がいがあってもなくても加茂市で暮らせる。
- 加茂市を離れなくても暮らせる。
- 障がいのある人に関心のある加茂市。（『好き』の反対は『嫌い』ではなく『無関心』）
- 選択肢が提示できる加茂市

緊急時の受け入れ対

◎緊急時の対応についての体制整備

- 受け入れについての相談対応
- 受け入れ場所
- 緊急時にすぐ泊まれる場所
- 介護保険の小規模多機能のような機能がある施設

体験の場

- ショートステイなど、親と離れて過ごす体験ができる場所がほしい
- 親子で利用できるようなサービス【共生型】

交通・移動手段の充実

- ◎気軽に利用できる交通機関
- 障がいがあっても外出したくなるような移動手段。（有償でも可）

フォーマルでは補えないところを支えるインフォーマルな支援

- 地域住民で支え合う風土。
- 地域住民の力を借りる。
- ボランティア団体等の活用・拡充
- 市民後見などの権利擁護機能があるとよい。